

サッカー部

設 立	1940年2月
部 長	大槻 知明(情報工学科)
現在の部員数	105人(2013年4月現在)
OB/OG 会代表者	富田 武彦
OB/OG 会会員数	781人
U R L	http://keiorikotai73rd.jimdo.com

理工学部体育会サッカー部の歴史

藤原工業大学時代

藤原工業大学豫科會會務報告(1941年3月)によれば、藤原工大予科に蹴球部(サッカーという言葉が敵性語であるとされたため蹴球部と呼んだ)が誕生したのは、1940年2月であった。部長木村(英語)、松村(化学)、顧問に酒井(体操)を仰ぎ、栗原、古庄および山口が幹事となった。5月14日に新宿聚楽において新入部員歓迎会を開き、翌5月15日に練習を開始している。6月には蹴球部の主催で、八中(現都立小山台高校)の球場において、校内蹴球大会を主催している。

部員はようやく11名そこそこで日吉の予科校舎の間の小さなグラウンドにポスト一基を建てるだけの余裕しかなく、額面十円也の部債なるものを発行して急場を凌いだこともあり、経済的に苦しい状況であった。そのような状況下でも部員全員元気よく放課後練習に励んだ。練習試合も多数組んだが、当初は戦績がなかなか上がらなかった。そのような中でも、部内には次第に活気が生まれ始め、さらに激しいトレーニングを行うようになった。

1940年11月8日初めての対外試合を3部の古強者日本医科大学と行い0-1で惜敗した。部活動を通じ、友人との討論による人格練磨はじめ団体精神の訓練など意義ある学生生活を送らんと仲間と誓い合った。1941年の夏には、菅平において初の合宿を行うなど精力的に活動を行うようになっていった。



12期卒業アルバムより(1954年卒)

終戦直後には、食べるものも十分に得られない人々も多い中で、何とかサッカーをしたいという思いで学生が集い、活動が行われた。しかし、当時はボールを売っている店などなく、それを手に入れることだけでも多くの苦勞をした。無論シューズもなく、練習するグラウンドもなく、今はめったにない地下足袋でやるという状況で、ユニホームを着てサッカーをすることは当時の選手からすると憧れであったという。この当時、登戸にグラウンドはなく向ヶ丘に行き、輪になってパス、シュートの練習をした。このような劣悪な状況の中



19期卒業アルバムより



小金井での練習風景(23期卒業アルバム)

でも学生が主体的に動き、熱心に活動を行うという精神のもとでサッカー部の活動はスタートした。

小金井時代

1949年に小金井校舎に移転した。戦争中の横河電機の工場跡で、グラウンドは無く、教育研究が工学部復興の急務であったため、サッカーの機会は無かった時期がある。当時の丹羽重光工学部長は技術者には体力が必要であるという考えから、校舎と多磨霊園の間にあった畑の跡にグラウンドを作ることを提案した。4期の堀内らは、トランシットを用いて、グラウンドの水平を測定した。これ以降にサッカー部の復興が始まる。

しかしサッカー部の部員はなかなか増えず、ラグビー部などから選手を借りることもあった。このような状況の中、選手の積極的な働きかけのおかげで、サッカーも公式戦に参加するようになった。1960年に「関東工科系大学サッカーリーグ戦」が発足、電通大、東工大、農工大、武蔵工大、千葉工大と慶應工学部の六大学がこれに参加した。日本工業新聞の後援を得て1960年5月22日から6月19日まで電通大(調布)と慶應工(小金井)のグラウンドで举行された。第1回大会は優勝東工大、2位農工大、3位慶應工であった。このリーグ戦も年々大きくなり1989年には1部、2部あわせて19校が参加している。

一方、19期の選手が中心となりOBチーム「FIT」が結成され、関東社会人リーグに参加した。当時



理工系リーグ開会式(中央、赤色がリコタイ)

は1部、2部があり各10チームであった。小石川サッカー場、東大農学部、横河電機、慶應工学部小金井グラウンドなども使われた。

矢上時代

理工学部75年の半分以上の42年間は矢上時代だ。この時代、日本のサッカーも理工学部サッカー部も大きく変わった。2012年は、Jリーグ発足から20年目、小学校のグラウンドでもサッカーをやっている姿がよく見られるようになった。工学部サッカー部も、理工学部サッカー部になり、現在の正式名称は体育会矢上部サッカー部だ。対外的には現役はリコタイ、OBはFIT(Fujihara Institute of Technology)を名乗っている。

FITの会長には、3期(1946年卒)の故舟橋泰夫の後、19期三宅勇次、20期富田武彦が就任した。FITは1990年代までは東京リーグに参加していたが、現在は、山形遠征合宿、現役とのOB戦、体育会サッカー部の蹴球祭招待、毎月1回のフットサル、春秋2回のゴルフ、などの活動をしている。

部長は、計測工学科堀内敏夫教授、情報工学科小澤慎二教授、情報工学科大槻知明教授が着任している。1980年代後半から、理工学部以外の学部にも所属する部員、女子マネージャーが参加している。サッカーの隆盛にともない、リコタイの入部者も毎年30人近く、1年から3年まで100名近い部員が矢上グラウンドで練習している。プレイヤーはサッカー経験者が大半を占め、体育会サッカー部で4年間フルに活動するよりも、リコタイで3年間集中し、4年目は就職活動に注力したいとい



2013年 関東大会準優勝



矢上での練習風景

う学生が多い。慶應内や他の大学のサークルやサッカー部などと交流を持ち、練習だけでなく多くの練習試合を行っており、関東理工科系サッカーリーグ戦、慶應カップ、早慶戦、新関東リーグなどの公式戦にも参加している。2006年には、新関東カップでは全国優勝を成し遂げた。また、塾内サッカーサークル 10 チーム以上が参加する慶應カップでは、2010、2011、2013 年と優勝した。2013年には、関東の各大学王者が戦う「2013 インディペンデンスリーグ同好会」に出場し、関東2位の成績を収め、全国大会では全国2位の成績を収めた。このように対外試合においても、輝かしい結果を残すようになった。創設当初はなかなか戦績が上がらなかったものの、75年の歳月を経て競争力をも伴う団体へと成長してきた。



サッカー部機関紙 FIT および OB 会誌
「思い出のサッカー部」

現役の活動状況

部員構成

理工学部体育会サッカー部は、現在「リコタイ」という名称で活動している。部員は、3年生が男21人、女6人、2年生は男24人、女9人、1年生は男26人、女7人で構成され、男子がプレイヤー、女子がマネージャーと分かれている。

リコタイには理工学部以外の学部にも所属する部員も多くおり、理工学部32人、経済学部20人、商学部16人、法学部14人、文学部11人である。

活動状況

1. 学期期間中の活動

学期期間中の練習は、週に4回(火、水、土、日)行っていて、各学部の授業時間割を考慮して

平日の練習には参加義務がない。矢上グラウンドの使用権の関係から、2012年度までは水、土、日のみの練習であったが、2013年度から新たに火曜日にも使用できるようになったため、練習量が増えている。

練習時間が限られているので、パスやシュートの練習に時間を割き、紅白戦はなるべく行わないようにしている。これは、毎回の練習に参加する約30人という大勢で矢上グラウンドを使用する上で、紅白戦よりも上記の練習メニューのほうが効率的に技術を向上させると考えたためである。練習メニューに紅白戦を含めない代わりに、日曜日には積極的に他チームとの練習試合を組むように心がけている。

また、土、日にはリコタイが参加しているカップ戦、リーグ戦が開催されることもある。

2. 長期休暇中の活動

夏休み、春休みの長期休暇中の練習は、曜日と関係なく週4~5回の練習・練習試合としている。



慶應カップ優勝後、応援の先輩方と

練習メニューは学期中と変わらないが、長期休暇中には合宿での遠征が多くなり、リコタイが参加しているカップ戦、リーグ戦も開催される。

3. 参加している主要カップ・リーグの概要

リコタイの活動は1月～12月を1期と考えている。これは、3年生が12月の追いコンを機に引退するためである。以下のカップ・リーグはリコタイが参加するうちで主要なものであり、1期を通して順番に紹介する。

① 理工系リーグ

9 大学理工学部のサッカーチームで構成されるリーグ。前身のリーグは学生のみで運営しており、参加校の変動はありながら、50 年の歴史がある。2013 年 2 月からは「ジャトコ×横浜 F・マリノス 新関東理工系リーグ」として新たに発足し、ジャトコ株式会社の支援のもとリーグの規模拡大を目指している。ジャトコには人工芝のグラウンドの一部援助や表彰チーム・個人への景品の援助をしていただいている。新たに発足したリーグには、慶應理工・早稲田理工・青山理工・明治理工・法政大学工体連・日本大学生産工・日本大学理工の 7 チームが参加しており、リコタイ(慶應理工)が幹事校である。幹事校として、試合結果の集計、試合本部の設置、ジャトコとの連携の役割を担っている。1 期リーグでは、最終戦に勝てばリコタイが優勝であったが引き分けてしまい、リーグ 3 位であった。

② 慶應カップ

3 月の春季休業中に行われる、塾内対抗大会。体育会サッカー部は出場していないが、リコタイを含め、SFC 生で構成されるチームなど多くのチ

ームが出場しており、大規模な大会である。2013 年度の出場は 10 チームで、2 日間で計 4 試合ずつを行い、リコタイが優勝した。

③ サッカーマガジンカップ

1982 年からの歴史を持つ大会で、夏季休業中に長野県菅平高原で開催される。リコタイからは毎年 3～4 チーム出場している。大会形式は、1・2 日目が 4 チームのグループリーグ、3 日目以降がトーナメントとなっている。トーナメントではノックアウト形式を採用しているため、リコタイの出場チームがすべて敗退した時点で菅平の地を去る。2012 年は参加数が 57 チームで、リコタイはベスト 8 であった。

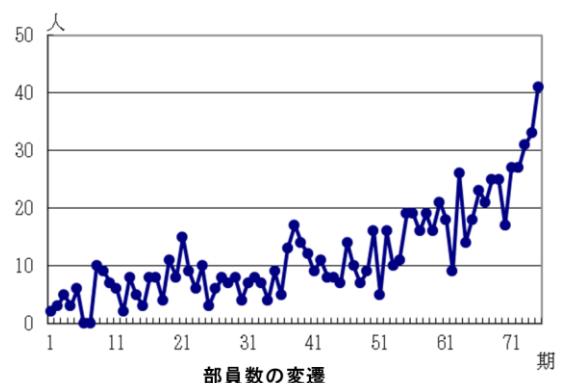
④ 新関東フットボールリーグ

1964 年に 8 チームの同好会リーグとして発足し、現在は 18 大学 48 チームが参加している。参加チーム数の増大に伴い現在は 3 部構成になっていて、リコタイは 2 部である。試合は 11～12 月の土日を利用して行われ、1 期最後のリーグ戦であるために、秋学期最大の目標となっている。

4. ホームページおよび部誌

リコタイの活動は、戦績、写真と合わせて HP で管理、紹介されている。

5. 部員の変遷



サッカー部の部員数の変遷を図に示す。

(文責：73 期大岡勇太、林栄吾)

理工学部体育会サッカー部およびFIT(OB会)年表

	西暦	事 歴
藤原工大時代	1940年	2月、蹴球部創設(発起人1期栗原裕夫、古庄実、部長:木村忠夫(英語)、副部長:松村(化学)) 11月8日、初めての対外試合を3部の古強者日本医科大学と行い、0-1で惜敗
	1942年	4期堀内敏夫入学、予科1年の時は対抗試合をしたが、予科2年からは勤労働員で試合はなし
	1944年	藤原工大は慶應義塾大学工学部へ
小金井時代	1947年頃	校舎は溝ノ口の日本光学工場跡、同じ敷地内の洗足高女のグラウンドで練習、隣の三菱化成と試合
	1949年	小金井に移転、丹羽重光工学部長の提案で校舎と多磨墓地の間の畑地跡をグラウンドに 部長 真島正市教授
	1954年	専任講師になった堀内敏夫が部長に 対抗戦の相手は自由学園と横河電機
	1958年	8月、19期生を中心に舟橋泰夫も参加し夏の合宿を福島で 10月、日吉で医学部と対戦し1-0で勝つ
	1960年	国尾武助教授が部長に 慶應工学部の提案で関東工科系大学サッカーリーグ発足 東工大が初優勝
	1961年	部長 堀内敏夫教授(計測工学科助教授) OBチームFIT発足、都市対抗東京予選などに出場 現役は塾内リーグも発足
	1971年	小金井最終組、この頃参加校の増えた理工系リーグで2部
矢上時代	1975年頃	新関東リーグで2部から1部に昇格 理工系リーグで初優勝、
	1979年～	OBチームFIT、東京都社会人リーグ3部だったが、昭和62年度2部に昇格、昭和63年度2部第3ブロック5位
	1981年	工学部の理工学部への発展に伴い、工学部サッカー部から理工学部体育会サッカー部「リコタイ」に
	1984年	他学部プレイヤー(男子部員)、マネージャー(女子部員)参加
	1989年	堀内敏夫教授の退官を機に、21期飛弾康則が「思い出のサッカー部」をまとめた 部長 小澤慎二教授(電気工学科教授)
	1990年代	OBチーム、FIT東京リーグ参加中止
	1998年～	2007年まで 年1回FITシニア会という会合を開催 幹事は毎年1年ずつ若返り1974年卒までが担当
	2000年	OBチームFITの情報共有手段として、 http://groups.yahoo.co.jp/group/fit_soccer/ 利用開始
	2007年	12月、FITは、昭和36年作成の会則を見直し、現役の納会に合わせ第1回の総会を開催 会長 3期 舟橋泰夫
	2008年	現役部長48期 大槻知明(情報工学科准教授) 月刊新聞「FITだより」発刊 6月、現役、新関東カップ優勝 11月、新関東リーグ2部Bブロックで優勝 7月元部長国尾先生亡くなる
	2009年	現役、春合宿の大学同好会チームSPRING CUPで優勝 FIT会長 19期三宅勇次
	2010年	3期舟橋泰夫死去
	2011年	5月、FIT、KBF(体育会サッカー部OB)の応援を得て、山形遠征合宿開始 11月、現役、新関東リーグ2部転落
	2012年	FIT会長 20期富田武彦
2013年	3月、現役、インディペンデンスリーグ[同好会]塾内10チーム参加の学内予選(@大井ふ頭)で優勝 10月、関東28大学の1位チームが参加したアットホームカップ(@鹿島ハイツ、埼玉スタジアム)で、日大BAMBINOに続き準優勝 12月5日(木)、6日(金)、各地区大学サークルの1位、2位が集まる全国大学同好会サッカー選手権大会2013(@大阪堺(J-GREEN堺))に関東地区第2位の慶應リコタイが参加 全国準優勝 リコタイの関西遠征試合は初めて FIT 故人、準会員の現役も含む名簿記載者 886 メールアドレスを登録した会員数 299 総会案内を受けとることを希望した有効会員数 206 fit_soccer登録者 111、その内YahooIDを登録して情報を共有している者 78 現役部員内訳 73期プレイヤー(男子部員) 22 マネージャー(女子部員) 9 74期プレイヤー 27 マネージャー 6 75期プレイヤー 30 マネージャー 11 合計 105	